

令和 3 年 4 月 16 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
661456

代表者 校園名： 大阪市立今里小学校
 校園長名： 山口 祐子
 電 話： 06-6981-8800
 事務職員名： 粟田 有加
 申請者 校園名： 大阪市立今里小学校
 職名・名前： 主務教諭 池内 一尊
 電 話： 06-6981-8800

令和3年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究B	研究年数	継続研究（2年目）
2	研究テーマ	「G I G Aスクール構想」を想定した遠隔授業による新しい授業スタイル創造			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>○遠隔授業を通して、児童が主体的にまとめた情報を発表・交流し、自分たちが収集した情報や作成した資料と比較・検討することにより深い学びへつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今里小学校と南港桜小学校 ・今里小学校と他地域・他校 ・南港桜小学校と他地域・他校 <p>○遠隔授業に必要な機器・環境整備をすすめる。</p> <p>○各校で実施した遠隔交流授業・遠隔合同授業について、実践交流し、効果的な授業展開について研究する。</p> <p>○児童の家庭とのオンライン授業を試行実施し、効果的なオンライン授業のスタイルについて検討する。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>昨年度の取り組みを通して、一定、遠隔授業のための機器・オンライン環境を整備することができた。また、遠隔授業を他校の教員とともに計画し、児童が様々な相手と交流する機会を持ったことで、多様な意見に触れることができ、深い学びへと結びついた。昨年度の実践をもとにさらに事例の改善・充実を図る必要がある。効率よく進めていくような打ち合わせの方法や計画の進め方を引き継いでいくことも必要である。</p> <p>○他地域・他校との遠隔交流・遠隔授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域・学校の特色や行事・活動の様子などを、児童がプレゼンテーションの形にまとめ、遠隔でつながった他校と互いに交流しあう。 ・教科における話し合い活動の単元を遠隔授業で他校と同時に進め、児童がより多くの意見を交流できるようにし、深い学びへつなげる。 ・遠隔交流・遠隔授業に必要な環境整備や単元の指導計画を、他校教職員と協働で計画立案、実践することで、遠隔交流・遠隔行事の進め方を確立する。 <p>○学校外との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環として、園田学園女子大学と遠隔授業を行う。大学生は、小学生のころどんな職業に就きたかったのか、今現在はその夢がどのように変わっていったのかなどを交流することで、児童が自分のこれから生き方を考える機会とする。 ・地域や企業と遠隔でつながることで、現地まで行くことが難しいところや、本校まで来校してもらうことが難しいところとも積極的に交流する。 <p>○学校と家庭をつないだオンライン授業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態下や一定期間登校できない児童を想定し、家庭とつないだオンライン授業の試行実施を行い、効果的なオンライン授業の展開について検討する。 			

研究コース

グループ研究B

代表校校園コード

661456

代表校園

大阪市立今里小学校

校園長名

山口 祐子

		日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
		<p>4月 研究テーマ・研究の柱・実践内容・見込まれる成果等の検討 遠隔会議による研究推進年間計画作成 (今里小・南港桜小)（「チーム今里小」：他県離島の今里小）等 ・学年・時期・単元・環境設定等</p> <p>5月 児童事前アンケート 合同会議による研究授業打ち合わせ ・単元構成・交流内容と方法・日程等 オンライン授業（学校と家庭）試行実施</p> <p>6月 交流開始（今里小・南港桜小）（「チーム今里小」）等 遠隔交流授業・遠隔合同授業実践 企業との遠隔授業</p> <p>7月 園田学園女子大学と将来の夢についてキャリア教育 合同研究会（オンライン授業の進捗状況と授業展開について協議）</p> <p>8月 交流校訪問研修（「チーム今里小」で授業の視点を確認、現地教材研究）</p> <p>9月 遠隔交流授業・遠隔合同授業実践</p> <p>10月 遠隔交流授業・遠隔合同授業実践</p> <p>11月 研究発表会・公開授業（参加者へアンケート） 指導講評・講演会（園田学園女子大学教授招聘）</p> <p>1月 遠隔交流授業・遠隔合同授業実践 企業との遠隔授業</p> <p>2月 教員・児童への事後アンケート実施・事前アンケートとの比較・分析・結果の考察 研究のまとめ</p>
		大阪市教育振興基本計画に示されている、 <u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u> および <u>教員の資質や指導力の向上</u> について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。
		<p>【見込まれる成果1】 他校との交流によるコミュニケーション能力の向上</p> <p>《検証方法》 交流後の児童アンケートで、「他校との交流で考えを広げたり、深めたりできた」の項目を85%以上にする。「他校との交流で学んだことは何か」で具体的に記述する割合を80%以上にする。</p>
		<p>【見込まれる成果2】 遠隔授業に関する教員の指導力向上</p> <p>《検証方法》 3年生以上で年間1回以上遠隔授業を計画実践する。実践後の教員アンケートで、「遠隔交流授業で主体的対話的な学習に効果があった」の項目を85%以上にする。</p>
		<p>【見込まれる成果3】 児童が登校できない状況でのオンライン授業に見通しを持つことができる。</p> <p>《検証方法》 各学年1回以上、オンライン授業の試行実施を行う。</p>
5	活動計画	
6	見込まれる成果とその検証方法	

研究コース

グループ研究B

代表校校園コード

661456

代表校園

大阪市立今里小学校

校園長名

山口 祐子

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果4】</p> <p>『検証方法』</p> <p>【見込まれる成果5】</p> <p>『検証方法』</p>				
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日（令和4年2月25日）までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1" data-bbox="409 976 1060 1043"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 3 年 12 月 1 日</td> <td>場所</td> <td>今里小学校</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 3 年 12 月 1 日	場所	今里小学校
日程	令和 3 年 12 月 1 日	場所	今里小学校			
8	代表校園長のコメント	<p>昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じての教育活動、研究活動において、ICTを活用した課題の共有、遠隔授業、WEB会議は、児童の学習機会の確保や教職員の研究の拡大深化に大きく役立つものであると実感されました。1人1台の端末が整備され、それを活用しての日常的な授業実践を進めることができます。また遠隔授業は、離れた人により確かに情報を伝える力を養う機会となります。地域や学校の特色等を交流し、自分の地域や学校について改めて見直すとともに様々な地域、様々な立場の人へと視野を広げ、人とつながるためのコミュニケーション力を育てる研究を進めたいと考えます。</p> <p>今年度は交流校や交流単元をさらに拡大し取り組みます。交流校とともに遠隔授業が実施しやすいICT環境を整備し、機会をとらえて様々な地域や人と情報交換することで、教職員の情報活用力、コミュニケーション力、教材開発力の向上にもつながることが期待できます。</p> <p>研究推進にあたっては、園田学園女子大学の堀田博史教授にご指導いただく了承を得ています。</p>				

令和 3 年 4 月 16 日

(※受付番号)

教 育 長 様

研究コース
グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
661456

代表者 校園名： 大阪市立今里小学校
 校園長名： 山口 祐子
 電 話： 06-6981-8800
 事務職員名： 粟田 有加
 申請者 校園名： 大阪市立今里小学校
 職名・名前： 主務教諭 池内 一尊
 電 話： 06-6981-8800

令和3年度 「がんばる先生支援」研究支援 経費執行申請書

◇「がんばる先生支援」として、経費を次のとおり申請します。

研究テーマ	「G I G Aスクール構想」を想定した 遠隔授業による新しい授業スタイル創造		
-------	--	--	--

費 目	金 額	備 考
8 旅費	5 普通旅費	0
教育センターでの経費執行	計	0 ①
7 報償費	1 報償金	279, 160
10 需用費	1 消耗品費	270, 840
	4 印刷製本費	0
11 役務費	1 通信運搬費	0
	4 手数料	0
	5 筆耕翻訳料	0
12 委託料		0
13 使用料及賃借料	1 使用料	0
17 備品購入費	2 校用器具費	0
	3 図書購入費	0
18 負担金、補助金及交付金	5 会費	0
学校での経費執行	計	550, 000 ②
合 計		550, 000 ①+②

研究活動にあたって、どのような目的で、どのような物品を購入するのか、主なものを記述すること。

- ・遠隔授業の際の1人1台端末での話し合い活動のため、マイク付きヘッドフォンを購入する。
- ・遠隔授業の機器接続のため、HDMI ケーブルを購入する。

細明証明訳内

研究コース

グループ研究B

代表校園 大阪市立今里小学校

(R03 樣式 2-2)

代表校校園コード

661456

費目	内 容	数量	単 価	金 額	予定期
8 - 5 普通旅費					
	費 目 小 計			0	
7 - 1 報償金	研究会講師（大学教授）	3	23,720	71,160	
	ICT活用授業講師	20	10,400	208,000	
	費 目 小 計			279,160	
10 - 1 消耗品費	マイク付きヘッドフォン	100	2,400	240,000	
	HDMIケーブル	12	2,570	30,840	
	費 目 小 計			270,840	
10 - 4 印刷製本費					
	費 目 小 計			0	
11 - 1 通信運搬費					
	費 目 小 計			0	
11 - 4 手数料					
	費 目 小 計			0	
11 - 5 筆耕翻訳料					
	費 目 小 計			0	
12 委託料					
	費 目 小 計			0	
13 - 1 使用料					
	費 目 小 計			0	
17 - 2 校用器具費					
	費 目 小 計			0	
17 - 3 図書購入費					
	費 目 小 計			0	
18 - 5 会費					
	費 目 小 計			0	
	合 計			550,000	

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名 : 大阪市立今里小学校	校園長名 : 山口 祐子
申請者	校園名 : 大阪市立今里小学校	職名・名前 : 主務教諭 池内 一尊

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
1	今里小学校	校長	山口 祐子
2	今里小学校	教頭	川本 直也
3	今里小学校	指導教諭	斎田 俊平
4	今里小学校	主務教諭	李 貴子
5	今里小学校	主務教諭	瀬古 裕代
6	今里小学校	主務教諭	藤井 優美子
7	今里小学校	主務教諭	池内 一尊
8	今里小学校	主務教諭	梶野 るい
9	今里小学校	教諭	安藤 七美
10	今里小学校	教諭	篠木 萌
11	今里小学校	講師	佐久間 絵里佳
12	今里小学校	講師	中野 奨也
13	今里小学校	主務養護教諭	倉石 美津子
14	今里小学校	養護助教諭	枡 沙弥佳
15	南港桜小学校	教頭	井後 雅之
16	南港桜小学校	首席	藤田 徹也
17	南港桜小学校	主務教諭	番野 伸音
18	南港桜小学校	教諭	杉本 拓央
19	南港桜小学校	教諭	木梨 翔太
20	南港桜小学校	講師	新保 愛
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

令和 3 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名 :	大阪市立今里小学校	校園長名 :	山口 祐子
申請者	校園名 :	大阪市立今里小学校	職名・名前 :	主務教諭 池内 一尊

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			
51			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			